

行事／取組名称	オリンピックチャレンジ in 静岡（物理第1回）		
担当者	原田 勲(JPhO)		
開催日時・期間	平成26年8月11日（月） 9:00～11:30	会場	静岡県総合教育センター(静岡県掛川)
主 催	静岡県教育委員会	後援	
共 催	J P h O		
協 賛			
概要			
静岡県教育委員会が本年より開始した「オリンピックチャレンジ」の中の”物理分野“へのJ P h Oの協力というかたちで企画されたイベントである。この事業は、静岡県の高校生にもっと“科学オリンピック”に挑戦してほしいという静岡県教育委員会の願いがこもっており、私たちJ P h Oとしてもプレチャレンジ事業の一環として協力し、このような事業を各地に定着させたいと思っている。講義は全部で3回行われるが、本講義はその第一回目となる。 今回は、高校1年生である参加者に物理への導入と物理チャレンジ・オリンピックの紹介、それに簡単なレポートの書き方などを講義した。実験・実習や理論の解説は、次回以降に行われる。参加高校生14名と高校の先生方2名が、熱心に講義を聴講し、わきあいあいとした雰囲気の中で充実した研修となった。			
参加者	教員	高校生	中学生
教員2名		高校1年生14名	0名

報告事項
静岡県教委主催の「オリンピックチャレンジ-物理第一回」では、参加者が高校1年生であったことを考慮し、講義は主として物理に興味を抱かせ、良く分かる目標・物理オリンピックに向けた取り組み紹介とそこに至る道について話した。以下その概略を述べる： 1. 日 時 平成26年8月11日（月）10：40～15：45 2. 会 場 静岡県総合教育センター（静岡県掛川市） 3. 講 師 JPhO 理事 原田勲（岡山大）： 4. 世話人・静岡県教育委員会 井島秀樹（高校教育課指導班Ⅰ、指導主事）他 スケジュール 10：40－12：00 ・物理への誘い：物理への挑戦から世界へ！： 様々な自然現象、特に光にまつわる身近な現象、例えば虹、を例にしてクイズ形式でグループごとに答えを考えてもらった。 12：00－12：50 昼食休憩 12：50－14：10 ・物理チャレンジ・国際物理オリンピックの紹介： 過去10年間の物理コンテストを振り返り、その間に派遣した物理オリンピックについても紹介した。特に、物理チャレンジは参加者にとって身近であることを強調した。 14：10－14：25 休憩 14：35－16：10 ・問題（宿題）の解説：8月3日の出題の第1チャレンジレベル問題の出題意図や正解の解説を行った。 ・実験レポートの書き方：物理チャレンジ募集要項に書かれた「レポートの書き方及び形式」に基づき、レポートには何が必要で、どんなことが求められているかを解説した。また、過去の優秀な例を紹介した。 朝10時から16時までの長い1日であったが、興味を持って聞く生徒の目が印象的であった。